

平成27年度 全国学力・学習状況調査について

泉佐野市立北中小学校

1. 調査の目的

- 国が、全国的な義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、各地域における児童生徒の学力・学習状況をきめ細かく把握・分析することにより、教育及び教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- 各教育委員会、学校等が、全国的な状況との関係において自らの教育及び教育施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- 各学校が、各児童生徒の学力や学習状況を把握し、児童生徒への教育指導や学習状況の改善等に役立てる。
- 児童生徒一人ひとりが、自らの学習到達状況を正しく理解することにより、自らの学力や生活に目標を持ち、また、それらの向上への意欲を高める。

2. 調査実施日

平成27年4月21日（火）

3. 調査の対象

小学校第6学年、全児童
実施児童数（90人）

4. 調査の内容

(1) 学力に関する調査

ア 教科は、国語及び算数・理科。

イ 出題範囲は、調査する学年の前学年までに含まれる指導事項を原則とし、出題内容は、それぞれの学年・教科に関し、主として知識・技能に関する内容（A問題）と、それらを活用する力などに関する内容（B問題）とする。

ウ 出題形式については、選択式及び短答式に加え、記述式の問題とする。

(2) 学習状況に関する調査

調査する学年の児童を対象に、学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関するアンケート調査（以下「児童アンケート調査」という。）を実施する。

(3) 学校の取組に関する調査

調査対象の児童が在籍する学校を対象に、学校における教育条件の整備状況や指導方法等に関するアンケート調査（以下「学校アンケート調査」という。）を実施する。

平成27年度全国学力・学習状況調査の分析（国語）

1. 全体の傾向

「A区分問題」

- ・平均正答数の全体的な分布状況は、全国とほぼ同じ状況であるが、全国と比べて上位層が少ない。
平均正答率（本校 64.0／泉佐野市 66.7／大阪府 67.6／全国 70.0）

「B区分問題」

- ・平均正答数の全体的な分布状況は、全国とほぼ同じ状況にあるが、全国と比べて上位層が少ない。
平均正答率（本校 55.3／泉佐野市 59.2／大阪府 62.7／全国 65.4）

2. 学力状況調査より（本校正答率/全国正答率）

国語A	特徴がみられた設問
<p>【話すこと・聞くこと】</p> <p>○提案の内容と、自分たちの様子とを、重ね合わせて聞くことに課題がある。</p> <p>3、聞き方の説明として適切なものを選択する。 (43.3／53.0)</p> <p>【書くこと】</p> <p>○具体的な事例をあげて説明する文章を書くことは概ねできているが、伝えたいことを説明する文章について、具体的な事例を挙げて書いたものか、そうでないものかを判断することに課題がある。</p> <p>4、説明の文章の書き方の工夫として適切なものを選択する。 (78.9／86.0)</p> <p>【読む】</p> <p>○「引用」とは、本や文章の一節、文・語句などを引いてくることである、と理解することに課題がある。</p> <p>5二、コラムの中で筆者が引用している言葉を書き抜く。</p> <p>○ぼくのお父さんに対する心情を捉えることはできているが、おじいちゃんとお父さんの二人の関係と、お父さんのぼくに対する心情を捉えることに課題がある。</p>	<p>6、登場人物の関係についての説明として適切なものを選択する。 (52.2／67.5)</p> <p>【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項】</p> <p>○承知の承を正しく読むことに課題がある。</p> <p>1－3、漢字を読む。（全員が承知した。） (85.6／92.5)</p> <p>○文の中における、主語を捉えることに課題がある。</p> <p>2一、文に主語として適切なものを選択する。 (41.1／53.1)</p> <p>○「書いた」が、動きを表す語句（どうした）に当たるとは理解できている。しかし、「すばらしい」が様子を表す語句（どんなだ）に当たることや、「富士山だ」が物を表す語句に当たるとを理解することに課題がある。</p> <p>2二、文の型として適切なものを選択する。 (60.0／71.7)</p> <p>○作品募集の案内の中から、必要な情報を読み取ることに課題がある。</p> <p>7、応募のきまりを守っていないものを選択する。 (61.1／73.9)</p>

国語B	特徴がみられた設問
<p>【読解】</p> <p>3 一</p> <p>○かみしばいの絵と文章を関連づける問題。文章問題の初め、中、終わりなどの構成や、物語の場面が変わるところがはっきりと理解できていない。また、目立つのが、番号で答える問題だが、無回答が16.9と多い。集中力が持たないか、最後まで問題にたどりついていない可能性もある。 (48.3/60.4)</p>	<p>【書く】</p> <p>3 二</p> <p>○文章を読んで、自分の言葉で答える応用問題。3つの条件が書かれている。条件の一つには、40文字から80字以内で書くことなど文字数の指定もある。自分の言葉で文字数を考えながら答える経験が少ないと考えられる。国語の単元テストでも書かない児童や不正解の児童が圧倒的に多い。 (49.4/66.6)</p>

3. 学習状況調査より

質 問 項 目	本校	全国	10%○ 5%◇	差
国語の勉強は好きですか	68.8	61.1	◇	7.7
国語の勉強は大切だと思いますか	94.4	92.0		2.4
国語の授業の内容はよく分かりますか	81.1	82.0		0.9
読書は好きですか	56.7	72.8	○	16.1
国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	92.2	88.6		3.6
国語の授業で目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり、書いたりしていますか	68.9	65.2		3.7
国語の授業で意見などを発表するとき、うまく伝わるように話の組み立てを工夫していますか	58.9	61.2		2.3
国語の授業で自分の考えを書くとき、考えの理由が分かるように気をつけて書いていますか	72.2	72.7		0.5
国語の授業で文章を読むとき、段落や話のまとめごとに内容を理解しながら読んでいますか	70.0	77.2	◇	7.2
今回の国語の問題について、解答を文章で書く問題がありましたが、最後まで努力しましたか	100	97.4		2.6

【考察】

- 「書くこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」はよく出来ていたが、「話すこと・聞くこと、読むこと」は苦手である。
- 文章の内容がどういう意図で書かれているか、読み取ることが苦手である。
- 「主人公の気持ちどうであったか書きなさい。」というような、気持ちを考察し文章にすることが苦手である。
- 「国語の勉強が好き」「国語の勉強が大切である」と思っている児童が、全国平均よりも高くなった事は喜ばしい傾向である。
- 読書が好きな児童が少なく、家庭で読書をする時間が少ない事は、今後取り組んでいくべき本校の大きな課題である。
- 回答を文章で書く問題が苦手にもかかわらず、最後まで努力をした児童が100%だったことは喜ばしい結果である。

平成27年度全国学力・学習状況調査の分析（算数）

1. 全体の傾向

「A区分問題」

- ・平均正答数の全体的な分布状況は全国とほぼ同じであるが、全国と比べ上位層が少ない。
平均正答率（本校 70.9／泉佐野市 73.5／大阪府 74.8／全国 75.2）

「B区分問題」

- ・平均正答数の全体的な分布状況は全国とほぼ同じであるが、全国に比べると上位層が少ない。
平均正答率（本校 41.0／泉佐野市 40.8／大阪府 44.1／全国 45.0）

2. 学力状況調査より（本校正答率／全国正答率）

算数A	特徴がみられた設問
<p>【数と計算】</p> <p>○小数の減法について計算の結果のおおよその大きさをとらえることに課題がある。 1（2）8.9－0.78の概算の結果の数値を選ぶ。（71.1/74.3）</p> <p>○加法における計算のたしかめの方法について課題がある。 1（3）6.33＋0.22＝6.52 から 6.52－6.33＝0.22 を立式する。（80.0/82.0）</p> <p>○繰り上がりのある加法の計算をすることは概ねできている。 2（1）28＋72を計算する。（98.9/98.2）</p> <p>○末尾の位のそろっていない小数の減法の計算をすることに課題がある。 2（2）6.79－0.8を計算する。（57.8/69.5）</p>	<p>【図形】</p> <p>○円の半径を利用した三角形が二等辺三角形になる根拠となる円の性質について説明することに課題がある。 5（1）円の中心と円周上の点を頂点とする三角形が二等辺三角形になる理由として、最もふさわしい円の特性を選ぶ。（46.7/50.6）</p> <p>○見取図と展開図を関連付けて、立体図形の辺や面の位置関係を理解することに課題がある。 6（2）作図途中の直方体の展開図について、残りの一つの面を加える辺を選ぶ。（56.7/67.6）</p> <p>【数量関係】</p> <p>○式で表現された数量の関係を図と関連付けて理解することは、概ねできている。 8 $3 \times 3 + 3$の「+3」の意味（85.6/88.1）</p>

算数B	特徴がみられた設問
<p>【数と計算】</p> <p>○四捨五入をして千の位までのおよその数にして計算することに課題がある。 4（1）四つの数を四捨五入して千の位までのおよその数に表しそれらの数の和を求める（46.1/52.6）</p> <p>【図形】</p> <p>○平行四辺形の性質を基に、辺の構成について概ね理解できている。 1（1）平行四辺形を構成することができる、四つの組み合わせを選ぶ（94.4/95.2）</p> <p>○平行四辺形の作図の方法に用いられる図形の約束や性質の理解に課題がある。 1（2）作図に用いられている平行四辺形の特徴を選ぶ（43.8/54.6）</p>	<p>○正三角形の性質を基に、示された周の長さから辺の長さが等しくなる位置を求めることに課題がある。 3（1）周の長さが24mの正三角形を巻き尺でつくるために、それぞれこの目盛りのところを持てばよいかを書く（20.2/32.5）</p> <p>【数量関係】</p> <p>○示された情報から基準量を求めることに課題がある。 2（2）20%増量した商品の内容量が480mLであるとき、増量前の内容量を求める式と考えを書く（3.4/13.1）</p>

3. 学習状況調査より

質 問 項 目	本校	全国	10%○ 5%◇	差
算数の勉強は好きですか	80.0	66.6	○	13.4
算数の勉強は大切だと思いますか	96.6	93.1		3.5
算数の授業の内容はよく分かりますか	86.6	81.0	◇	5.6
算数の授業で新しい問題に出会ったとき、それを解いてみたいと思いますか	88.9	77.5	○	11.4
算数の問題の解き方が分からないときは、諦めずにいろいろな方法を考えますか	86.6	79.6	◇	7.0
算数の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考えますか	73.4	67.7	◇	5.7
算数の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	95.6	90.3	◇	5.3
算数の授業で問題を解くとき、もっと簡単に解く方法がないか考えますか	84.5	79.1	◇	5.4
算数の授業で公式やきまりを習うとき、そのわけを理解するようにしていますか	86.6	80.6	◇	6.0
算数の授業で問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いていますか	90.0	83.8	◇	6.2

【考察】

算数 A

- 小数の加法減法の計算の確かめの方法を理解することに課題がある。
- 小数点をそろえて位ごとに計算することに課題がある。
- 見取図と展開図を関連付けて、立体図形の辺や面の位置関係を理解することに課題がある。
- 円の中心と円周上の二点を頂点とする三角形の角の大きさを求めることは、全国平均を上回っている。

算数 B

- 日常生活の事象と関連付けて、「四捨五入」、「切り上げ」、「切り捨て」のそれぞれの意味と処理の仕方についての確実な定着を図るために、経験や興味・関心と関連付けて取り扱うことが大切である。その際、図や数直線などを用いて理解できるようにする。
- 平行四辺形を構成することができる辺の組み合わせを正しく判断することは相当数の児童ができていますが、作図をする際に用いられる平行四辺形の性質を判断することに課題がある。「なぜそのような方法で作図することができるのか。」と、その操作の意味について考えることで、図形の約束や性質について理解を深めることが大切である。
- 示された情報から基準量と比較量、割合の関係を正しく捉え、基準量を正しく求めることができるようにするために、比較量を求める場面の考え方を基にして、数量の関係を把握できるようにすることが大切である。
- 上記の算数に関する質問が全て全国平均を上回っているのは喜ばしい結果である。

平成27年度全国学力・学習状況調査の分析（理科）

1. 全体の傾向

・平均正答率の中央値が全国・大阪に比べると低い。上位層が少なく、中位層以下が平均異して多く分布している。
(本校 49.5/泉佐野市 53.6/ 大阪府 57.3/ 全国 60.8)

2. 学力状況調査より（本校正答率／全国正答率）

理科	特徴がみられた設問
<p>【エネルギー】 エネルギーに関することについては、全体的に大きな課題がある。</p> <p>○振り子時計の調整の仕方を調べるための実験について、条件を制御しながら構想することに大きな課題がある。</p> <p>1（1）振り子が1往復する時間を変える要因を調べるため適切に条件を変えた振り子を選ぶ (66.7/77.6)</p> <p>○振り子の運動の規則性を振り子時計の調整の仕方に適用することについて大きな課題がある。</p> <p>1（2）振り子時計の進み方を調整する内容を選ぶ (47.6/61.2)</p> <p>○熱膨張が小さい金属について、グラフを基に考察して分析した内容を記述することに大きな課題がある。</p> <p>1（3）振り子時計の軸に用いる金属を選び、選んだわけを書く(46.7/58.6)</p> <p>○電磁石と磁石の同極が退け合う性質を振り子が左右に等しく振れる仕組みに適用することに大きな課題がある。</p> <p>1（4）電磁石と磁石が避け合うようにするための極の組み合わせを選ぶ(37.8/53.2)</p> <p>○電磁石の働きを利用した振り子について、試行した結果を基に自分の考えを改善することに課題がある。</p> <p>1（5）イ 電磁石の働きを利用した振り子が左右に等しく揺れる導線の巻き方や乾電池のつなぎ方について、当てはまるものを選ぶ (60.0/66.2)</p> <p>【生命】 生命に関することについては、全体的に大きな課題がある。</p> <p>○生物の成長に必要な養分のとり方について、調べた結果を視点をもって考察して分析することに課題がある。</p> <p>2（2）よし子 生物の成長に必要な養分のとり方について、仲間分けした観点を選ぶ (77.8/76.3)</p>	<p>2（2）ひろし 生物の成長に必要な養分のとり方について、仲間分けした観点を選ぶ (57.8/69.0)</p> <p>○顕微鏡の名称を理解していることに大きな課題がある。</p> <p>2（3）示された器具（顕微鏡）の名称を書く (48.9/61.6)</p> <p>○顕微鏡の適切な操作方法を身に付けることに課題がある。</p> <p>2（4）顕微鏡の適切な操作方法を選ぶ (31.1/37.9)</p> <p>○植物の適した栽培場所について、成長の様子と日光の当たり方を適用して、その内容を記述することに大きな課題がある。</p> <p>2（5）インゲンマメとヒマワリの成長の様子や日光の当たり方から、適した栽培場所を選び、選んだわけを書く(14.4/33.0)</p> <p>【物質】 物質に関することについては、全体的に大きな課題がある。</p> <p>○水蒸気は水が気体になったものであることを理解することに大きな課題がある。</p> <p>3（1）水蒸気の状態の説明として当てはまるものを選ぶ(68.9/81.9)</p> <p>○予想が一致した場合に得られる結果を見通して実験を構想することに大きな課題がある。</p> <p>3（2）水の温まり方の予想を基に、温度計が示す温度が高くなる順番を選ぶ (43.3/54.0)</p> <p>○水の温まり方を考察するために、実験結果を基に自分の考えを改善することに大きな課題がある。</p> <p>3（3）水の温まり方について、実験結果から考え直した内容を選ぶ(34.4/51.7)</p> <p>○メスシリンダーの名称を理解していることに非常に大きな課題がある。</p> <p>3（4）示された器具（メスシリンダー）の名称を書く(38.9/70.7)</p> <p>○メスシリンダーで一定量の水をはかり取る適切な扱い方をみにつけることに課題がある。</p> <p>3（5）メスシリンダーで定量の水をはかり取る適切な扱い方を選ぶ(42.2/51.7)</p>

<p>○析出する砂糖の量について分析するために、グラフを基に考察し、その内容を記述することに非常に大きな課題がある。</p> <p>3(6) 水の温度と砂糖が水に溶ける量との関係のグラフから、水の温度が下がった時に出てくる砂糖の量を選び、選んだわけを書く (4. 4 / 24. 9)</p> <p>【地球】 地球に関することについては、全体的に大きな課題がある。</p> <p>○方向を判断するために、観察した事実と関係づけながら、情報を考察して分析することに大きな課題がある。</p> <p>4(1) 方位についての情報から、観察している方位を選ぶ(30. 0 / 41. 0)</p> <p>○月は1日のうち時刻によって形は変わらないが、位置が変わることを理解することに課題がある。</p> <p>4(2) 夕方にみられる月の形と場所を選ぶ (46. 7 / 56. 1)</p>	<p>○星座の動きを捉えるための適切な記録方法を身に着けることは、概ねできている。</p> <p>4(3) 星座の動きを捉えるために必要な記載事項を選ぶ(58. 9 / 55. 3)</p> <p>○星座の動きについて、観察記録を基に考察して分析することに大きな課題がある。</p> <p>4(4) 観察した星座や雲の動きを選ぶ (53. 3 / 65. 0)</p> <p>○水が水蒸気になる現象について、科学的な言葉や概念を理解することに大きな課題がある。</p> <p>4(5) 水が水蒸気になる現象について、その名称を書く(40. 0 / 58. 5)</p> <p>○打ち水の効果について、グラフを基に考察して分析することは、概ねできている。</p> <p>4(6) 地面に水をまいたときの地面の様子と温度変化について、実験結果からいえることを選ぶ (82. 2 / 84. 2)</p>
--	---

3. 学習状況調査より

質 問 項 目	本校	全国	10%○ 5%◇	差
理科の勉強は好きですか	86.7	83.5		3.2
理科の勉強は大切だと思いますか	88.9	86.9		2.0
理科の授業の内容はよく分かりますか	86.7	87.9		1.2
自然の中で遊んだことや自然観察をしたことがありますか	84.4	86.9		2.5
理科の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考えますか	67.8	69.3		1.5
理科の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	84.5	74.5	○	10.0
観察や実験を行うことは好きですか	86.6	90.1		3.5
理科の授業で、自分の予想をもとに観察や実験の計画を立てていますか	68.9	75.3	◇	6.7
理科の授業で、観察や実験の結果から、どのようなことが分かったのか考えていますか	81.1	80.4		0.7
理科の授業で、観察や実験の進め方や考え方が間違っていないかを振り返って考えていますか	66.7	67.1		0.4

【考察】

- 領域を問わず、全体を通して大きな課題がある。
- 器具の扱い方、器具の名称などの理解が低い。
- 実験の構想、実験結果からの考察・分析、内容の記述等についての理解が非常に低い。
- 学習状況調査をみると、観察や実験についての取り組み方に課題があるように思える。観察や実験を行う理由や必要性、生活との関連等を児童に理解させる工夫が必要である。

平成27年度全国学力・学習状況調査の分析（児童質問紙より）

本校の子どもたちの意識調査を、質問に対して4択（62問）で選ぶものは、選択肢1、2と3、4はそれぞれ同じ傾向と捉える。（例えば、1. 当てはまる 2. どちらかといえば、当てはまる 3. どちらかといえば、当てはまらない 4. 当てはまらない）

また、それ以外の質問（12問）は特徴的な事柄を取り出し、それらを全国と比較している。

下記の表には全国と比較して5%以上差のあるものの中で、特徴的な項目を列挙した。さらに、下線部に関しては10%以上の差のあるものを示している。

設問内容種類別の全国との比較で差が大きく特徴のある項目

設問内容種別	本校の状況	本校 < 本校 回答率 / 全国 回答率 >
【家庭生活の様子】	<ul style="list-style-type: none"> ・ゲーム、メールやインターネット・テレビ・ビデオの時間が全国と比べるとかなり長い。 ・朝食を毎日食べている割合が全国と比べて少ない。 ・就寝時刻が定まっていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ○朝食を毎日食べていますか。 <90.0/95.6> ○毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか。 <66.7/79.5> ○自分には、よいところがあると思いますか。 <74.5/76.4> ○普段、一日どれくらいの時間、テレビ・ビデオを見ますか。（3時間以上） <57.8/36.1> ○普段、一日どれくらいの時間、ゲームをしますか。（3時間以上） <37.8/17.0> ○普段、一日どれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットをしますか。（2時間以上） <13.3/6.7>
【家庭学習の様子】	<ul style="list-style-type: none"> ・家で宿題・予習・復習がきちんとできていない。 ・課外の学習は多めにできている。 ・読書をする、新聞を読む時間が少ない。 	<ul style="list-style-type: none"> ○学校の授業時間以外に、普段一日どれくらいの時間、読書をしますか。（30分以上） <27.7/37.7> ○家で、学校の宿題をしていますか。 <96.7/96.8> ○家で、学校の授業の予習をしていますか。 <34.4/43.4> ○家で、学校の授業の復習をしていますか。 <42.2/54.5> ○新聞を読んでいますか。（月に1回以上） <34.5/45.6>
【学校での学習の様子】	<ul style="list-style-type: none"> ・学校に行くことを楽しいと思っている。 ・学級の仲間を大切にしてい、協力して何かをやり遂げた経験が多い。 ・人の役に立つ人間になりたいと思っている。 ・授業で自分の考えを発表する機会がある。 ・いじめは悪い事だと感じている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○学校に行くのは楽しいと思いますか <85.5/87.0> ○学級みんなで協力して何かをやり遂げ、うれしかったことがありますか。 <92.2/86.1> ○学校のきまりを守っていますか。 <78.9/91.3> ○いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか。 <94.4/96.2> ○人の役に立つ人間になりたいと思いますか。 <95.6/93.7> ○5年生までに受けた授業では、自分の考えを発表する機会が与えられていたと思いますか。 <86.6/86.7> ○5年生までに受けた授業では、学級やグループの中で自分たちで課題を立ててその解決に向けて話し合うなど取り組んでいましたか。 <77.8/74.2>

本校の取組み

◎これまでの取組み

【自ら考え共に学び合う体験的な活動（授業）を通して、コミュニケーション豊かにつながる子どもの育成を目指すための取組み】

(1) 言語活動・コミュニケーション活動の充実

- ① 国語科をはじめ、全ての授業で「聴く」「表現する」活動を工夫し、相手の思いや考えを能動的に理解しようとする、自分の思いや考えをわかりやすく伝えようとする態度を育む。
 - ・読み聴かせ活動 ・聴き方「あいうえお」 ・ペア学習及びグループワーク
 - ・話し方「かきくけこ」 ・伝わりやすい書き方ワーク ・プレゼンテーション 等
- ② 人と関わる楽しさを感じることや、他者との出会いを積極的に取り入れる。
 - ・交流活動 ・人と関わる体験的な学び ・まなびんぐスクール 等

(2) 体験的な学びを通して、信頼感や安心感であふれる集団づくり

- ① 目標に向かって集団活動を企画・運営する。
 - ・共有できるルールづくり ・チームとしての活動づくり 等
- ② 自分を振り返る機会を習慣づける。
 - ・振り返りジャーナルや日記 等
- ③ 本音を語り合え、心情を共有する関係づくり。
 - ・相互に伝え合い聴き合うオープンクエスチョンワーク 等

(3) 自力解決の力を育てる生活や授業での学び

- ① 自己選択と自己決定を積み重ねるしかけを組み込む。
- ② 基礎基本の習熟を図ると共に、活用力を高める。
- ③ トラブルの解決のために、全学年がセカンドステップに取り組む。

【基礎基本の定着のための取組み】

- (1) 学力向上の一環として、基礎・基本の習熟と活用能力を高めることを目標に、習熟度別指導を中心に取り組む。
- (2) 朝学習を充実させ、漢字や計算の力をつける。
- (3) 研究授業や校内研修を計画的に行い、積極的な意見交換により個々の授業力向上を目指す。

◎これからの取組み

【基礎基本の定着】

- (1) 力だめしプリント等を有効活用し、読み書き計算の習得に力を入れる。
- (2) 反復学習による基礎基本の習熟に力を入れる。
- (3) 少人数・習熟度別学習を効果的に利用し学力アップにつなげていく。
- (4) 読書活動を充実させていく。
- (5) パソコンやICT機器を使用した授業を充実させていく。

【授業改善による授業内容の向上】

- (1) 授業力向上のため、研究部を中心として授業改善に取り組む。
- (2) 研究授業及び研究討議の内容を充実させ、授業力の向上を目指す。
- (3) 集中力の育成に取り組む。

【家庭との連携】

- (1) 朝食の重要性、テレビ・ゲームの悪影響を訴え、家庭との連携を深める。
- (2) 宿題の出し方について共通理解を深め、家庭の協力を得る。
- (3) 学校ホームページを通じて積極的な情報発信に努める。

【落ち着いた学習環境】

- (1) セカンドステップの取組みを続け、感情のコントロールを身につけさせる。
- (2) ふわふわ言葉の取組みを続け、あたたかく落ち着いた学習環境を構築する。
- (3) 耐震・改修工事で美しくなった環境を生かし、教室の掲示物等はユニバーサルデザインを意識する。